

佛心

二〇一八年一月号

浄土真宗

トロント本願寺

年頭の辞

新しい年のはじめにあたり、ご挨拶申し上げます。

いっさくねんじゅうがつついたち
一昨年十月一日より昨年五月三十一日まで京都の本山
本願寺でお勤めました伝灯奉告法要には、海外開教区を含
む世界各地から約十五万人の方にござ参拝いただきました。
宗祖親鸞聖人以来、浄土真宗のみ教えが約八百年間にわ
たって今日の私たちにまで伝わってきていることを尊いご
縁だと感じました。そして、多くのご参拝の皆さま、イン
ターネットの中継を見られた方々と共にお念仏できること
をありがたく思います。

あみだ
阿弥陀さまのおはたらきを聞かせていただく時、私たち
は、自分の都合や思いにとらわれて、物事をありのままに受
け止めることが難しい私の姿に気付かされます。ですか
ら、阿弥陀さまのおはたらきを聞き続けることが大切であり

ます。そのことによつて、その大智大悲のお心に促され
導かれて、他の人々とともに生きるといふ生き方に
自分自身の生き方も変わってくるのです。

ほんねん
本年も浄土真宗のみ教えを聞き、南無阿弥陀仏とお
念仏申す日々をともに過ごさせていただきましょう。

二〇一八年一月一日

浄土真宗本願寺派

門主 大谷光淳



新年の挨拶



新年明けましておめでとございます。

慈光うらかな年頭にあたり、

謹んでお祝いの言葉を申し上げます。

旧年中は皆様より数々のお育てをいただき、実りある一年を過ごさせて頂きました。私事ではありますが、その旧年は西本願寺より正式に開教使任用の辞令をいただき益々身の引き締まる思いとともに、その肩書きや立場に拘り囚われることなく、今後とも皆様の聴聞の姿を見習って一緒に手を合わさせていただきます。

今年で二回目のお正月をトロントで過ごすことになりました。一年目は新しい環境に馴染むために慌ただしい日々でしたが、この二年目もまた一年目と同じ様に、いやそれ以上に慌ただしく、日々を早く感じる年を過ごしました。そして、これまで以上に来年度はもっと時の早さを感じてしまうのかもしれない。それはまるで歳を重ねれば重なるほど、一年という時間が人生のなかで短くなっていくような感覚です。

以前、通勤途中のラジオで面白し話しを耳にしたことがあります。その話しとは、人間は年を負うごとに一年という時間を短く感じてしまう、ということでした。これにはジャンネーの法則という名前まであるらしいのです。

その法則とは十歳の子にとって一年は十年間分の一年、つまりは十分の一になる。しかし、五十歳の方にとっての一年とは五十年間分の一年、つまりは五十分の一になる。したがって年を重ねれば重ねるほど、その分子となる年の単位は1のままなのに、分母となる年の単位だけがが増えていく。だから、歳

を重ねる毎に一年という時間が短く感じてしまうという話しでした。

つまりは、去年が慌ただしく忙しい時間を多く過ごした一年であり、今年がゆっくり過ごせる年であったとしても、人生全体を見ればその一年も短く感じてしまうものなのです。

ただ、大事なのはたとえ短く感じてしまう年においても「私にとって、この一年はかけがえのない年となりました。」と改めておもえることではないでしょうか。つまりは、理屈で時間の経過をいたずらに捉えるのではなく、その日その日をどのように過ごすかだと思います。

皆さんも既にご存知であるかと思いますが、今年からクリステイナ・ヤンコ開教使がこことトロント仏教会を退任されました。私にとってクリステイナ先生と過ごした時間というのは二十六年分の約一年と半年です。しかし、彼女が私に教えてくれたことは、そんな数字では表せないものばかりです。ときには笑い楽しく同じ時間を過ごしたことも、ときには怒りお互いの顔を見たくなかった時間を過ごしたことも、いま思い返すとどれも掛け替えのない一瞬でした。

そして本年度も門信徒方ならびにクリステイナ先生と共に阿弥陀如来のおはたらきに手を合わさせていただきます。合掌

トロント仏教会 駐在僧侶

大内祐真

新年明けましておめでとございます。



昨今の寒波の中、皆さんは暖かい部屋の中で、静かで楽しい年末年始を過ごされたことと思います。

私と家族にとり、この冬はトロントで過ごす最後の冬になりますが、いつも以上に感動多い冬になりました。いろんな形の雪の結晶、道路や歩道に高く降り積もる雪、木々や公園を覆いつくす白い雪のカーペット、それらすべてが私を魅了します。今までの冬において、激しい降雪には恐怖を感じたものですが、でもこの冬は違います。

先日、デイブの運転するレンタカーがバザースト通りの雪の上り坂で滑った時、その運転の仕方について笑ってしまいました。雪道運転の要領が分からないカルフォルニア州生まれのデイブに代わり、雪道に慣れ親しんだアルバータ州生まれの私が運転したのですが、アクセルを小刻みに踏むとか、轍を外して走るとか、シートで体を上下に揺らすとか、あらゆる雪道テクニクを駆使し路面のグリップを確保してもまだ不十分でした。その時、親切な人が助けに来てくれ、デイブと一緒に力の限りに車を押し、ようやくその場から脱出することが出来ました。

私が初めてこことトロントのお寺に来た時、不安や緊張とともに、人目を意識しつつ初めから完璧であるべきと思ったものです。それはものすごいプレッシャーでしたが、ベストを尽くそうと考えました。多くの失敗があり、丘の頂上を目指そうと頑張っても、後ずさりすることもたくさんありました。でもその都度、お寺のどなたかが助けに来てくれ、頂上めがけて背中を押してくださいました。

今、常任僧侶として後任に道を譲る時がきました。

たが、トロントを去るのは悲しいものの、嬉しいことともあります。私と私の家族をサポート頂いたことに加え、私に対して辛抱強く接して頂いたことに感謝し、丘の頂上へ常に私を押し上げて頂いたことに感謝いたします。

大内祐真（おおうちよしみち）開教使ひとりになった教団東地区にとり、当面は難しい状況が続くと思われませんが、元氣いっぱい、かつ聡明、そして献身的な僧侶が皆さんと共にあることはとてもありがたいことです。大内僧侶がトロントへ着任した時から、彼の快活な性格と献身的な対応のおかげで私の日々は穏やかなものになりました。

米国ビザがまだ審査されている段階ですので、しばらくは日曜サーブス等で皆さんにお目に掛かれると思いますが、でもまだ米国のメールアドレスが取得できない状況です。ですので、もし私と連絡を取りたいときは、christinayanko@hotmail.comまでご一報ください。

米国メールアドレスを取得した際は、皆さんへ速やかにお伝えします。

最後にもう一度、今まで皆さんからいただいたことに対し、月並みな表現ですが私と家族一同、心からの感謝を申し上げます。

合掌

クリステイナ ヤンコ開教使、

デビッド リングル、

そしてアテイカス リングルより

総代から新年の挨拶



ハッピーニューイヤー！
明けましておめでとござ
います

さて、新しい年へ続く特別な季節がまた訪れました。

この季節は私にいつも特別な思いをもたらしてくれませんが、この季節には常に二つの素晴らしいことが起きることを意味しています。

第一に、過去一年間に起きたことを思い巡らす時間を与えてくれること。それは過ぎ去った楽しかったこと、また落ち込んだことを思い返す時でもあります。過ぎ去った365日には多くのことが起きます。この一年間に起きたことを思い巡らすことで、楽しかった時間、平安な時間、うれしかった時間、愛すること、いたわりの心、同情、満足感、感謝等の多くの良い感情や思いが、連続して脳裏を過ぎていきます。でもそれは同じくバックミラーを見るように、悲しみ、失敗、不満を感じたとき、敵対的な行為、テロリズム、戦争、愛する人を失った悲しみ等の多くの好ましくないことも思い起こします。すなわち以上を一言で表すなら、陽と陰の混ざり合いと思います。

第二に、この季節は次の365日に何が起きるか占いの水晶玉をのぞき込むようなものでもありません。これは過去一年間に何が起きたかを思い巡らすことは異なり、今後一年間において希望に満ちた願いや、決意を明確化する季節であり、また次の365日に何が待ち受けるかを願う、想像する季節でもあります。

例えば、個人的には次の一年間で体重を18ポンド減量することですが、これは毎月わずか1.5ポンドの減量で達成可能なことであるという考えでしています。でも残念ながら、12か月目に一気に18ポンドの減量を目指さねばならないことが常でもあります。

私が考えるに現実的かつ達成可能なことは次の一年間、このお寺とサンガの皆さんが思慮、健康、調和を保ちつつさらに成長することであり、私たちの開教使、アシスタント、法の実践者を通して伝えられる素晴らしい仏や法の教えを共有することでもあります。これらは十分に達成可能であり、私たちはすべきことを分担し、また共同作業を通して得られることでグループおよびコミュニティとしてお互い限りなく強くなることでもあります。

2018年の私の願いは、お寺のメンバーとサポーターの皆さんが引き続きお互いを助け合うことにあります。もし私たちが引き続きお互いを労わり、心配しあうならば、これらの行動が私たちのお寺を末永く継続することに繋がります。

今年もよろしくお祈りします。これからも皆さんがお互いのため、お寺のために最善を尽くすことを期待しています。過去一年間に寄せられた皆さんからの前向きな貢献に感謝すると共に、来たる一年も素晴らしい年でありますように。

感謝と共に合掌

ラリー ワキサカ

日本語法座のご案内

『浄土真宗？仏教？そもそも宗教ってなんだろう？』
そういった疑問を駆け出しの坊主と一緒に考えながら
噛み砕いた言葉でお話しをしています。
毎週月曜日10時より勤行の後、日本語の法話をしています。

1月の日程表：

- 8日 正信偈(行譜) 和讃「^{だいしんかい}大心海より化してこそ～」
- 15日 正信偈(草譜) 和讃「^ねこころはひとつにあら子ども」
- 22日 正信偈(草譜) 和讃「^{しゃかみだ}釈迦^{じひ}弥陀は^{ぶも}慈悲の父母～」
- 29日 正信偈(草譜) 和讃「^{しんしゅう}真宗ききえつつ～」

問い合わせは、大内祐真(僧侶)まで rev.ouchi@tbc.on.ca

涅槃会

(お釈迦様が入滅された日)

2月18日(日)

午前11時より

(日英合同)

※法要後にランチがございます



敬老会

3月18日(日) 午後12時半より



喜寿、米寿、白寿を迎えられる方々に、長年にわたってお寺のために貢献
していただいた感謝の気持ちを込めて、表彰状を送らせていただきます。

該当されます方は、3月4日までにお寺までご連絡下さい。なお数え満年
齢のどちらでも結構です。

報恩講

宗祖親鸞聖人のご命日にあたり、聖人のご苦勞を偲び
ご恩徳に報謝する、浄土真宗でもっとも大切な法要です

1月20日(土)

午後5時 ベジタリアンポットラック夕食

午後6時半 報恩講(遠夜法要)

※法要後おぜんざいが振る舞われます

1月21日(日)

午前11時 報恩講(日中法要)

午後1時 トロント仏教会 年次総会



トロント仏教会会計事務からのお知らせ

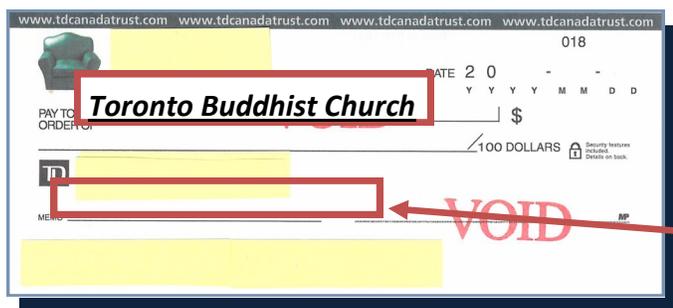
トロント仏教会は、皆様からの支援となる募金・会費・お布施に厚く御礼申し上げます。この度、皆様からの支援につきましてご連絡をさせていただきます。

寺院に小切手として預けられる際、宛名に**Toronto Buddhist Church**の略称として「TBC」もしくは「(Toronto Buddhist Temple)TBT」と記載される方がいます。それらの略称もしくは「Toronto Buddhist Temple」では、銀行との契約関係でお預かりした小切手を募金またはお布施としてお寺に納めることが出来ません。

正式名称である『**Toronto Buddhist Church**』として宛名にお書きになりますよう宜しくお願い致します。また供華や寺報冊子、各会（ダーナ・サンガ・新婦人会）など特定の支援募金をされたい方は、小切手の宛名ではなく**MEMOの欄**にお書きになりますようお願い致します。

これからも念仏繁盛、念仏相続のためにご理解とご協力をいただきますよう、

どうぞよろしくようお願い申し上げます。 合掌



供華や寺報冊子、各会（ダーナ・サンガ・新婦人会）など特定の支援募金をされたい方は、宛名ではなくこの**MEMOの欄**にお書きになりますようお願い致します。

ダーナ婦人会からのお知らせ

使用済み切手の収集

ダーナ婦人会では“Save the Children Fund”のために使用済み切手の収集をしています。切手を切る際は、切手本体より1/4～1/2インチ(約5mmから15mm)離してお切りください。この慈善活動は切手を販売元を買ってもらい、貧困に苦しむ国の子もたちの将来のために使われます。使用済み切手をお持ちの方は、お寺のロビーにあります切手収集箱に寄付をお願い致します。

海外通貨の収集

皆様が海外へ行かれた際に使用されなかった海外通貨の収集をトロント仏教会では行っております。またJSBTC(浄土真宗カナダ教団)の婦人会連盟でもこの活動を行っており、この活動で集められた海外通貨はユニセフへ寄付されます。お寺のロビーに専用の箱が備え付けられています。ご協力のほどよろしくお願い致します。



会員登録
新規／更新

会員登録のお願い

オンライン登録
新規／更新

2017年が過ぎ、また2018年度会員登録のお願いの季節になりました。昨年も会員登録数が増え、300名を超えました。この順調な増加傾向はトロント仏教会の将来に向けた心強い流れになっています。しかしながら、いまだに会員登録をされていない方がおられます。

言うまでもなく、トロント仏教会の将来は会員の皆様に依存しており、ここに今年度の会員登録と会費のお支払いをお願いするものです。

トロント仏教会は常に会員特典の向上をめざしておりますが、ここにいくつかの特典を列記します。

1. トロント仏教会の運営に関する投票権の取得、例えば総代表および各会リーダーの選出、予算の決裁その他トロント仏教会の将来に関する重要な事項等。
2. “Jodo Shinshu values of the Temple” の定期購読
3. 現行会員による無料公証業務
4. CAA Premium-level の割引
5. トロント仏教会特別行事への参加費用の免除あるいは一部減免

一般会員とは各年1月1日から12月31日まで有効で、トロント仏教会の会員として活動するにあたり、年初において速やかな会員登録をお願いします。会員登録と会費（2018年の会費は最低\$125から\$130に上がりました）の受理後（あるいは5月31日までに支払うとの確約後）、会員カードを送付します。

名誉会員とは77歳以上の方で、2017年度会員登録をされた方、あるいはすでに名誉会員であり毎年名誉会員の継続を表明された方、に会員カードを送付します。名誉会員は年会費が免除されますが、ご志納はありがたく拝受させていただきます。